

第10次愛知県職業能力開発計画(案)に係る意見概要と県の対応

到達日	市町村	年齢	性別	職業	意見概要	県の対応
1月26日	西尾市	70	男	無職	計画案の文章は、行政文書の用字の使い方の決まりに沿っていないところがある。きちんと直すべき。	行政文書の用字の使い方に沿っていない語句等は修正します。
2月7日	名古屋市	50	女	主婦	2014年に愛知県で開催された技能五輪・アビリンピックでは、全国の若者が一生懸命取り組む姿が印象に残っている。再び、2019年に愛知県で技能五輪が開催されるとのことだが、とても良いことだと思う。大会に向けた人づくりにもしっかり進めてほしいと思う。	本計画では、「技能五輪全国大会・全国アビリンピックの開催準備・誘致」を3本の施策の柱を推進する主要な取組としています。大会に向けた人づくりについては、今後、県立高等技術専門校を技能五輪参加選手の練習の場としての活用などの検討を進めてまいります。
2月8日	同上	40	男	会社員	第2章 検討の視点の「2 愛知県の将来展望」「(2)アジアが牽引する世界経済とグローバル化の進展」の記述で「2020年代には、中国が米国を抜いて世界最大の経済大国になると予測されているなど、アジアが最大の経済圏として世界経済をけん引する見込みである。一方で、日本を含む先進国の成長力は低下し、世界の中での日本のプレゼンスは低下することが懸念される(あいちビジョン2020より)【図表2参照】」と書かれているが、図表2から記述内容が読み取れない。	御意見を参考に、図表をアジア主要国の経済成長率に変更してまいります。
	同上				第3章 本県の産業構造・労働環境の現況(現状分析)「2 製造品出荷額等は38年連続で全国1位」の記述で「本県は、代表的な産業である輸送用機械に加え、業務用機械、鉄鋼、プラスチックなどのサポーターインダストリーや、繊維、窯業といった地場産業まで幅の広い製造業の集積を有するモノづくり県である」と書かれているが、「サポーターインダストリー」という単語の定義は、(独)中小企業基盤整備機構によれば、「サポーターインダストリーとは、日本経済を牽引する自動車、情報家電、航空機等の産業を支えている金型、鍛造、鋳造、めっき等の基盤技術を有するものづくり中小企業群を指す」となっており、単語の誤用ではないか。	御意見を参考に、サポートインダストリーという語が誤解を生まないよう、モノづくりの基盤を支える産業というような記述としてまいります。
	同上				第3章 本県の産業構造・労働環境の現況(現状分析)「2 製造品出荷額等は38年連続で全国1位」の記述で「グローバルな生産と消費に基づく第2次産業は、本県の経済成長をけん引する存在であるが、世界的な経済変動の影響を受けやすい側面もある。例えば、リーマンショックによる世界的な景気減速や東日本大震災によるサプライチェーンの障害に起因して、本県の製造品出荷額等の推移は、他の多くの都道府県と比較して影響を受けやすい傾向がある。【図表7参照】」と書かれているが、以下の点を考慮して記述すべきではないか。 ①「グローバルな生産と消費に基づく」のは第2次産業だけでなく、第1次産業も同様。 ②「第2次産業」という言葉は、本計画案では、この部分だけ使用されていて唐突であるうえ、第2次産業には鉱業、建設業を含むため、文脈から「製造業」とするのが適当ではないか。 ③出荷額の変動については、平成20年の製造品出荷額等と平成21年同の変動率で比較すると、愛知△25.8%、神奈川△23.7%、静岡△21.5%、東京△21.4%、埼玉△19.7%、兵庫△18.7%、大阪△18.5%で、愛知は減少率全国第6位である。 ④第1段落で、世界的な経済変動の影響を受けやすいとして、第2段落で例示をしているが、サプライチェーン問題は世界的な経済変動の影響ではなく、同問題が世界的な経済変動に影響を与えたため、因果関係が逆ではないか。 ⑤「景気減速」は、経済成長の伸び率が鈍化することで、7%成長が6%成長になった場合等を指す。リーマンショックのようにマイナス成長になった場合は、景気後退ではないか。	御意見を参考に、製造業は本県産業をけん引しているが、経済のグローバル化の進展により、世界的な景気変動の影響を受けやすくなっていることを記述し、例示として、リーマンショックに起因する世界的な景気後退局面では本県の製造品出荷額等の下落率は、製造品出荷額等が上位の他府県を上回ったというような記述としてまいります。

到達日	市町村	年齢	性別	職業	意見概要	県の対応
2月8日	名古屋市	40	男	会社員	<p>第3章 本県の産業構造・労働環境の現況(現状分析)「3 製造業の就業者数は漸減傾向」の記述で「本県の基幹産業であり国際競争力を有するモノづくり分野を支える製造業の就業者数は2012(平成24)年には100 万人以上だったが、2014(平成26)年には94万3 千人と2 年連続で減少しており、漸減傾向である。一方、新規求人数は高止まりしており、雇用のミスマッチが発生していると考えられる。【図表8 参照】」と書かれているが、以下の点を考慮して記述すべきではないか。</p> <p>①「モノづくり分野を支える製造業」の語句は、重ね言葉ではないか。製造業はモノづくり分野そのものであり、当該分野を支えているわけではない。</p> <p>②「高止まり」の語句は、相場や価格などが高値のまま下がらない状態をいう(大辞泉)であり、求人数は価格や価値ではなく、量なので「横ばい」が適当でないか。</p> <p>③「雇用のミスマッチ」の語句は、誤用ではないか。厚労省の資料によると「雇用のミスマッチ」の定義(<a href="http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-11601000-Shokugyouseiteikyoku-Soumuka/0000062121.pdf">http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-11601000-Shokugyouseiteikyoku-Soumuka/0000062121.pdf</a>)は、「労働市場における需要量と供給量のバランスが取れているにもかかわらず、求職者側と求人側との意向等が一致せず、失業が発生している状態」であり、愛知県の現況は、「労働市場における需要量&gt;労働市場における供給量」であり、「雇用のミスマッチ」に該当しない。単に製造業が求職者に選好されていないだけ。それが一番の課題。</p>	御意見を参考に、言葉の重複を修正し、本県の基幹産業であり国際競争力を有する製造業というような記述としてまいります。また、直近の新規求人数は過去5年間の中では比較的多くっており、労働市場の円滑なマッチングが重要となっているというような記述としてまいります。
	同上				<p>第5章今後の産業人材育成のテーマ・施策の柱及び具体的な取組「2 具体的な取組」「イ 県立高等技術専門校の見直し・機能充実」の記述で、「○ 女性、障害者、非正規雇用労働者など多様な人材一人ひとりの職業能力を高める役割を担う。・女性、非正規従業員等の再チャレンジのための訓練メニューの充実、・育児をする女性等に配慮した訓練コースの設置」と書かれているが、以下の点を考慮して記述すべきではないか。</p> <p>①「再チャレンジ」の単語の定義については、内閣官房の再チャレンジ社会に係るパンフレットにおいて「仮に失敗しても何度でもチャレンジできる社会の構築は、安倍内閣の重要政策の一つです」とあり(<a href="https://www.kantei.go.jp/jp/singi/ywforum/pdf/siryou1.pdf">https://www.kantei.go.jp/jp/singi/ywforum/pdf/siryou1.pdf</a>)、この定義に基づけば、一部の自発的離職者(自発的非正規従業員含む)や結婚・育児・介護等により離職した女性を失敗者とみなすことになるため、「再チャレンジ」ではなく、「再就職」とすべきではないか。</p> <p>②「非正規雇用労働者」と「非正規従業員」の単語の違いは何か。</p>	御意見を参考に、再チャレンジという語が誤解を生まないように、再就職という記述としてまいります。また、非正規雇用労働者という表現に統一してまいります。
	同上				<p>第2章 検討の視点の「2愛知県の将来展望」「(2)アジアが牽引する世界経済とグローバル化の進展」の記述で「サービス産業のウエイトが高まるなど産業構造の変化が生じるとともに、雇用形態の流動性が高まり、産業や企業をまたぐ労働の移動が拡大することが見込まれる」と書かれているが、計画案の中にサービス産業の人材育成の記載が少ないのではないか。</p>	本計画の方向性としては、本県の強みであるモノづくりに軸足を置いた職業能力開発を進めていくこととしているため製造業に関わるモノづくり人材育成の取組が多くなっていますが、IT、介護・福祉分野等人材ニーズが見込まれるサービス分野における訓練・講習会等の実施についても記載しております。
	同上				<p>本計画案は、あいち産業労働ビジョン2016-2020の個別計画とあるが、あいち産業労働ビジョンで掲げるターゲットポリシーとの整合性に欠けているのではないか。あいち産業労働ビジョンでは、「次世代自動車」、「航空宇宙」、「ロボット」、「健康長寿」、「環境・新エネルギー・静脈産業」、「IT産業・都市型産業」、「モノづくりマザー機能の強化」がターゲット業種等に挙げられているが、本計画案では言及されていない業種等がある。</p>	あいち産業労働ビジョンで育成・振興していくとしている次世代産業分野等につきましては、航空機分野での人材育成支援など具体的な取組を着実に実施していくとともに、本計画案に記述がない分野等についても、愛知県産業人材育成連携会議、産業人材育成・確保促進プロジェクトチームでの検討、愛知県産業人材育成支援センターの活動、県立高等技術専門校の見直し・機能充実等を通して、施策の充実に努めてまいります。
2月9日	名古屋市	50	男	会社員	<p>「第5章 今後の産業人材育成のテーマ・施策の柱及び具体的な取組」「2 具体的な取組」「(2)施策の柱ごとの取組」「イ 中小・小規模企業の人材育成・能力開発支援」「(ウ)人材育成・能力開発に向けた関係機関(産業、労働界(組合等)、教育界等)の連携強化」の記述で、愛知地域訓練協議会に触れられているが、この協議会は、愛知労働局、愛知県、(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構愛知支部の幹部レベルで構成されていると思うので、「業務担当者等で構成される」という表現は工夫した方がいいのではないか。</p>	御意見を参考に、愛知労働局、愛知県、(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構愛知支部で構成される愛知地域訓練協議会(事務局:愛知労働局)というような記述としてまいります。